

## 27) 靈的エクササイズ20. 2020年5月4日(月)

朗読 使徒言行録11:1-18

福音 ヨハネ10:11-18

父と子と聖霊の御名によって、アーメン。

イエスとイエスの母、私たちの御母マリアは賛美されますように！

私がほとんどいつもこの言葉と共に講話を始めるのを、皆さんはお聞きになってきたでしょう？

今、皆さんはこうして祭壇のすぐ後ろに「良き羊飼いのイエス」とルクセンブルクの聖母「悲しむ者の慰めのマリア」をご覧になっています。この聖母のオクターヴ(8日間。大きな祝い日の前に8日間かけて準備する)が始まりましたが、この聖母は特別で、二回のオクターヴで準備します。オクターヴの最初の日曜日は、「良き羊飼いのイエス」を祝います。

良い羊飼いのイエスは、「わたしは自分の羊を知っており、羊もわたしを知っている」(ヨハネ10:14)と言われます。

おお、イエスよ、私があなただを知っていると言われるのですか？ イエス、それは「事前の褒め言葉」のようです。正直に言いますが、こういうイエスのことは知らなかった、ということが度々あるのです。

特に、私が自分の小ささ、弱さを感じている時、恥を感じている時、あなたがどれほど偉大か、あなたがどれほど私のすぐそばにおられる方を初めて知るので、あなたが私を恥じておられないことも知るので。

イエスよ、あなたは私を、私たちを恥となさいません。あなたは私たちに近づいてくださいます。あなたは、私たち一人一人のために十字架の道を辿ってくださったのですから。

イエスよ、あなたが私たちを知ってくださっていることに感謝します。私たちの弱さをご存知で、私たちの傷も、今、私が何を必要としているかもご存知です。

「そうだ、わたしはわたしの羊を知っている。あなたが何を必要としているか知っている、わたしの子よ。わたしの小さな羊よ」とイエスは私たちに優しく、しかししっかりとされることでしよう。

イエスは、子羊を肩に抱(かか)えられ、ご自身は御母に抱(いだ)かれています。イエスは、神は、人となることを恥とされませんでした。母親に、婦人の胎内に10ヶ月抱かれることを恥とされませんでした。神は、そのように小さく、謙遜な方です。生まれてからは、たびたび母マリアの御腕に、そして、御養父ヨゼフに抱かれたことでしよう。マリアの優しさ、親密さ、良い言葉などによって育てられ、人間がそれらを必要とすることを学び、ヨゼフからは、父親の愛を学んだことでしよう。

イエスよ、あなたはあなたの羊を知っておられ、あなたの羊はあなたを知っています。

そして、もっと深くあなたを知りたいと思います。どうか、もっと近くにいらしてください。

あなたは、弟子たちとガリレヤ、サマリヤ、ユダヤを歩きながら、「この囲いに入っていない他の羊もいる。その羊も導かなければならない。その羊もわたしの声を聞き分ける。こうして、羊は一人の羊飼いに導かれ、一つの群れになる」（ヨハネ10：16）と言われました。

あの時、すでに私たちのことを、私のことを考えてくださっていました。

あの時、すでにイエスは、あなたのことを考えておられました。

イエスよ、永遠の昔から、私たちがあなたのお考えの中に、あなたの御心の中にあつたことに感謝いたします。

あなたは、「わたしはとこしえの愛をもってあなたを愛し、変わることなく慈しみを注ぐ」（エレミア31：3）と言われます。

イエスよ、あなたは良き羊飼いです。私たち一人一人を忠実に守ってくださいます。

主は、十字架の上から聖母マリアに私たちを託されました。そして、マリアよ、あなたはそれをお受けくださいました。あなたの母なる愛で私たちを担ってくださいます。マリアよ、私たちの慰めの母となってくださいましたことに感謝いたします。

主イエスよ、あなたの救いの御業に感謝いたします。

私たちが、マリアとイエスの良き導きの御手の間にいるということを自覚させてください。主よ、あなたの愛の祝福をお与えください。

父と子と聖霊の御名によって、皆さんを祝福します。アーメン

私たち皆にとって、祝福に満ちた一週間でありますように。